

平成28年第2回相馬市総合教育会議議事録

1 開催日時

平成28年11月7日（月）

開会 午後3時28分 閉会 午後4時31分

2 開催場所

相馬市役所 3階 正庁

3 出席した構成員

相馬市長	立谷秀清
職務代理者	小畑強子
教育委員	森陽子
教育委員	菅野明彦
教育委員	関根進
教育長	堀川利夫

4 欠席した構成員

教育委員長	宗形明子
-------	------

5 事務局関係

（相馬市）

企画政策部長	宇佐見清
企画政策課長	横山哲也

（相馬市教育委員会）

生涯学習部長	佐藤栄喜
総務課長	齋藤典雄
学校教育課課長	渡邊義人
総務課庶務係長	小関善之

6 傍聴人

なし

7 協議事項

1 重点的に講ずべき施策について

① 平成29年度 教育委員会 施策の方針について

8 議事の経過

1 開 会

2 市長あいさつ

3 協議

1 重点的に講ずべき施策について

①平成29年度 教育委員会 施策の方針について

○ 協議結果

平成29年度教育委員会施策の方針を以下のとおりとする。

○ 協議内容

1. 心のケア事業

①フォローアップチームの継続 <学校教育課長概要説明>

②エル・システム事業の継続 <生涯学習部長概要説明>

③教育支援相談員の配置 <学校教育課長概要説明>

<関根委員> 最近、大人でも心が弱い人が増えているように感じている。

児童生徒は当然だが、その家族に対しても対策を講じる必要があると考える。

<菅野委員> 震災や津波の被災地等に関係なく、対応することは必要なことと考える。

<立谷市長> 児童生徒に対するカウンセリングだけでなく、教職員に対しても必要性を感じているので、これらの事業は継続することとしたい。

また、エル・システム事業は文化庁から補助をいただいているが、相馬市の持ち出し分については、基金を財源としても良いのではないかと考えている。

2. 学力向上事業

①Q Uアンケートの年2回実施 <学校教育課長概要説明>

②実用英語検定試験の受験補助 <学校教育課長概要説明>

③国語辞典の活用奨励事業 <学校教育課長概要説明>

④キャリア教育充実のための環境整備 <学校教育課長概要説明>

⑤特別教育支援員の配置 <学校教育課長概要説明>

⑥創意工夫支援事業の改善・継続 <学校教育課長概要説明>

<立谷市長> ①Q Uアンケートについては、この結果に基づき『親和的学級集団の形成』を目指すのであれば、P D C Aの理念がここにあると感じているので、より効果的になるなら、2回の実施は良いのではないかと考える。

②と③については、直接子どものために活用される事業であるので、基金を財源としても説明責任が果たされると考える。

⑤については、全国市長会でも話題となっており、全国的なレベル

で考えなければならないと感じている。どの市町村においても、この事業に対する財政負担が多くなってきていることが問題になっているので、全国市長会としても、この対応を国に求める必要があると考える。

＜教育長＞ ①のQUアンケートは、学級経営そのものを評価されるものであり、実施に反対する意見が増えても仕方ないと考えていたが、この結果を改善に活用する意見が増えている傾向にある。

＜立谷市長＞ これらの事業は、実施することとする。

3. 施設の充実について

①洋式トイレの整備 ＜総務課課長概要説明＞

②中村第二中学校の校舎改築事業の継続 ＜総務課長概要説明＞

③山上小学校の大規模改修事業の継続 ＜総務課長概要説明＞

＜立谷市長＞ これらの事業は、国の補助（支援）の下に行うものであり、計画のとおり実施することに教育委員各位にも了解いただきたい。

4. 放射線教育、防災教育の再点検事業

①外部講師による講話の実施 ＜学校教育課長概要説明＞

＜立谷市長＞ 説明を聞いた限りでは、『放射線教育、防災教育の再点検事業』というよりも、『防災指導専門員配置事業』が適切ではないかと考える。

人材の目途があるなら、事業名を改め実施する事で進めることにしたい。

5. 相馬民謡後継者育成事業

①平成29年度予算措置 ＜生涯学習部長概要説明＞

＜森委員＞ 今年の野馬追の際、相馬流れ山の踊りを練習した。

私たちの世代には担い手がいらないため、指導者もご高齢の方が多いのが現状である。

この様な状況を考えると、今子どもたちに伝えなければならないと考える。

＜立谷市長＞ 相馬民謡全国大会ジュニアの部に、今年は6名の参加があり、昨年よりも参加者が増えたことが嬉しかった。

相馬にとってはとても重要な事であるが、この指導を受けた子どもが将来市内に居なくても、その地域でご披露いただくだけでも相馬市の大きな力となる事を考えれば、事業としては必要なことと思う。

財源には基金を活用しても良いのではないかと。

6. 文化財の保存活用事業

①中村城跡保存整備事業 ＜生涯学習部長概要説明＞

②田代駒焼活用事業 <生涯学習部長概要説明>

<立谷市長> ①中村城跡については、委員会からの答申をいただいております、田代駒焼の活用はこれから検討していかなければならないことである。
この事業については、従来の方針のとおりとしてよろしいか。

7. その他

<教育長> 幼児教育とICTに関しては、次年度に事業の再点検を行いたいと考えている。

<立谷市長> 本日協議した内容を今一度見ていただきたい。
この事業の中に、相馬市が独自に実施している事業が多いことにお気づきいただけると思う。
教育委員会事業に関しては、相馬市の取り組みに胸を張って良いと考える。